

INTERVIEW

マンモグラフィ検診認定技師

う えだ り な

上田 梨菜

リラックスできる環境を整え 女性技師が撮影を担当

新しいマンモグラフィは痛みにも配慮

姫路医療センターにおける、マンモグラフィの撮影は、女性のマンモグラフィ検診認定技師が担当します。この度導入された3Dマンモグラフィは、支持台は角に丸みを持たせて、お腹など体に触れる部分には凹みを設けるなど、体に無理なく沿う形状になっているのが特徴です。従来の機器より圧迫の痛みは軽減されますが、それでも個人差はあり、マンモグラフィは苦手、初めてで少し怖いという方もおられるでしょう。そのようなときは、ぜひ気兼ねなく、率直にその気持ちを打ち明けてください。私たちはその不安感に寄り添いたいと思っています。もしどうしても不安で撮影できないときは、キャンセルをされても構いません。まずは気持ちをラクに、検査を受けに来ていただきたいです。車椅子の利用の方も検査できますので、ご相談ください。



痛みにも十分配慮して撮影します。

女性ならではの共感を持ち、患者さんに寄り添います

医師の声を現場にフィードバック

もうひとつのトピックはマンモグラフィ専用の部屋ができたことです。ピンクを基調にし、かわいい壁紙を貼って明るい雰囲気になりました。時間に追われず検査ができるようになりましたので、しっかり問診をし、またコミュニケーションを取りながら、リラックスして検査を受けていただけます。

もちろん何よりも重要なのは、技師として医師にわかりやすい正確ではっきりとした画像を撮ることです。今、私たちは白岩先生のもと、定期的にカンファレンスを行い、先生の意見や撮影に関する指導をいただき、現場にフィードバックしています。知識と技術を高め、診断に有用な画像を提供することで、私たちは乳がんの早期発見に努めます。



私たちが撮影を担当します！

KIBOU 姫望

HIMEJI Medical Center

Vol. 2
December 2024

特集

乳がん死 ゼロへの挑戦

早期発見のため
乳がん検診を
受けましょう

INTERVIEW



乳腺外科 医長

小河 靖昌

放射線診断科 医長

白岩 美咲



マンモグラフィ検診認定技師

上田 梨菜



独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター
National Hospital Organization HIMEJI Medical Center
〒670-8520 兵庫県姫路市本町68番地 Tel:079-225-3211
<https://himeji.hosp.go.jp/>



WEBサイト

姫望 Vol.2 表紙説明
2024年6月に導入された最新式の
3Dマンモグラフィの写真



広報誌「姫望」
名称説明

「姫望」という名称は職員から案を公募し、投票の上決定しました。案を出していただいた職員の理由は以下の通りです。「姫路医療センターから、地域医療機関に向けて当院の魅力が伝わり、患者さんを姫路医療センターには是非紹介したい。と思ってもらえるような広報誌をお届けする事が出来るように…。と願い(望み)を込めました。」

乳がん死

ゼロへの挑戦

特集

最新の装置を導入
最高水準の乳がん検診を提供します

3D Mammography

高精度な画像診断とともに生検も実施

乳がん検診は、最近エコーが併用されることも増えていますが、基本の検査はマンモグラフィです。マンモグラフィは、しこりに加えて、しこりを作る前の石灰化やしこりを作らないタイプのがんを見つけ出します。一方、エコーはしこりを見つけるのが得意です。乳腺が多くて、マンモグラフィではしこりがわかりにくい場合、威力を発揮します。当科では2024年6月、最新式の3Dマンモグラフィを導入しました。短時間の撮影で、多くの断面の画像データを収集することができ、これまでわかりにくかった病変もしっかり診断できるようになりました。併せて、マンモグラフィを撮影しながら生検を行える装置を導入しました。乳がんを疑う石灰化が見つかった場合、エコーでしこりが見えなくても、マンモグラフィで石灰化を狙って針を刺し、組織を取って、非常に早期の乳がんを診断することが可能です。局所麻酔での1時間程度の日帰り検査ですので、患者さんの負担も大きくありません。新装置の導入で、石灰化をはじめ、早期の乳がんの発見の確率が大幅に高まり、乳がんの早期治療へとつなげる確かな体制が整いました。もちろん、乳がんの治療前には、CT、MRIやPET-CTで、さらに詳しい検査も行っています。高機能の装置を駆使して、診断から治療まで、必要不可欠な高精度の画像診断に一貫して取り組んでいます。

治療もお薬も進化している今、早期がんの発見を



放射線診断科 医長
しらいわ みさき
白岩 美咲

日本乳がん検診精度管理中央機構 教育研修委員
マンモグラフィ読影委員

0期・1期の早期で乳がんを見つけ出す

マンモグラフィでしこりや石灰化が見つかった場合、乳がんとは限りません。良性の時も多いですので、慎重に診断します。そして、たとえがんであっても、最近では進行していても、治療と日常生活を両立できる状況が増えています。しかし、早期の段階で乳がんを発見できれば、治療はより効果的で、かつ、身体への負担も軽減されるという大きなメリットがあります。0期なら治療すれば、まず大丈夫といっていでしょう。1期では、10年生存率は94.1%。しかもこれは10年前のデータで、治療もお薬も進化している現在では、生存率がさらに伸びていることは間違いありません。地域の女性のみなさんには、ぜひ高精度な乳がん検診を受診していただきたいと願っています。



乳腺外科 医長
おごう やすまさ
小河 靖昌

患者さんの満足度が高い手術をお届けします

乳がんの手術療法では、可能な限り乳房を温存するというのが当院の乳腺外科の考えです。しかし、がんの範囲や進行具合によりやむを得ず全摘をせざるを得ない場合もあります。術式選択は、マンモグラフィ、エコー、MRIなどの画像を詳細に検討して行います。当院には、乳腺画像診断における日本屈指のエキスパートである白岩医師が在籍しております。この点は他の病院にはないアドバンテージであり、患者さんの病気の状態や希望などを熟慮した上で、最適な術式を選択します。その結果、患者さんの生活の質、満足度を上げることにつながっているとの自負があります。

進化した乳がん治療

Breast Surgery

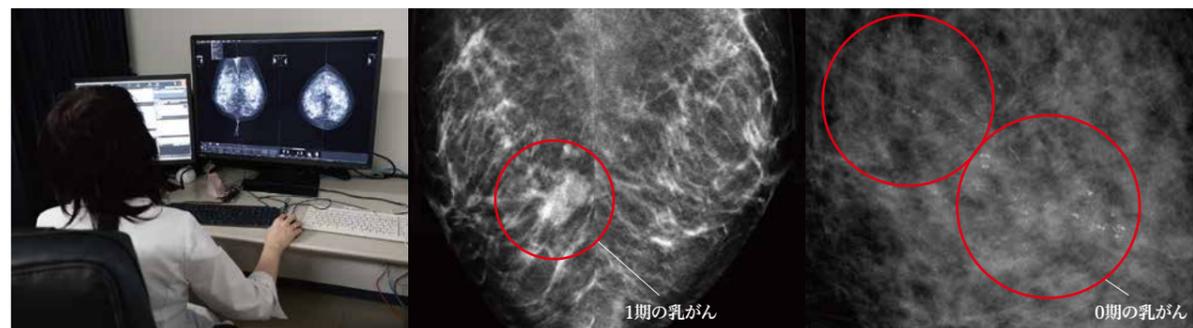
優しく、徹底的に乳がんを治します

薬物療法の進歩により個別化医療が前進

乳がんの薬物療法は大きく変貌し、患者さん個々の病態に応じた個別化医療が浸透しています。たとえば、かつては予後のよくなかったHER2タイプの乳がんでは、新規の薬剤が登場し、手術前の薬物療法により6割ほどの患者さんががんが完全に消えることが報告されています。手術により、がんの遺残があるかどうかを病理学的に検討し、その結果を踏まえて術後薬物療法の選択を行うようになりました(residual disease-guided approach)。また、従来は予後が良いとされたルミナルタイプの乳がんでは、オンコタイプDXという遺伝子検査が保険適応となりました。この遺伝子検査では、再発のしやすさが「再発スコア」として数値化されるため、患者さんにもとてもわかりやすいですし、その結果により手術後の抗がん剤治療の是非を判断します。

自分の乳房に関心を持ちましょう

乳がんは早期に見つければ、治る見込みの高いがんです。だからこそ乳がん検診を受診してほしいのです。日本人女性の乳がん検診受診率は2割ほどといわれ、結果として診断・治療が遅れたり、治療費がかさむケースが多いのは本当に残念なことです。また、普段からご自分の乳房に関心を持ってほしいと思います。「プレスト・アウェアネス～自分の乳房を意識する生活習慣～」が、早期発見につながる第一歩といえるでしょう。ぜひ、自分の乳房を見て、触って、セルフチェックを実施してみてください。



早期の乳がん、見つけ出します。

3Dマンモグラフィです。
15ミリのしこりが映っています。

白く点のように見えるのが石灰化です。
最新の装置で以前より見つけやすくなりました。



見て チェック!
両腕を上げ下げ!
鏡に向かい乳房の「大きさ・形」「左右差」「ひきつれ・凹み・膨らみ・ただれ・変色」が無い確認。両腕を上げ下げ・後ろに回したりして色々な角度から乳房を確認しましょう。



触って チェック!
入浴時石鹸を付けるとスムーズ
渦巻を描きながら確認!
チェックする側の腕を上げもう一方の手の指の腹でゆっくり丁寧に渦巻を描きながら乳房の「しこり・違和感」が無い確認。乳首周辺を軽くつまみ分泌物が出ないかも確認してください。



寝ながら チェック!
変化に目配り!
仰向けに寝てチェックする側の肩の下にタオルなどを敷き腕を上げ乳房の「内側外側・わきの下」に違和感が無い確認。「しこり」を探すのではなく変化に目を配り確認しましょう。